感動の余韻 ～お客さまアンケートより～

東宝&りゅーとぴあ共同製作
『十二番目の天使』【2019.4.6～4.7／劇場】

一見自分と関わりのない話に思えるのに、終演後は自分の周りの人たち、そして自分自身をもっと大切にしようと思える作品でした。
（新潟市／30代／女性）

途中から涙が止まりませんでしたが、終わったらデトックス効果でスッキリ。明日からまた頑張ろうと力をもらえました。
（新潟市／50代／女性）

春の能楽鑑賞会（観世流）【2019.4.21／能楽堂】

能とは静かなものと思っていましたが、こんなにも激しいとは知りませんでした。驚きでした。
（新潟市外／50代／女性）

能と狂言では発声が違うのだなぁと思いました。大鼓・小鼓、笛と謡が重なり高揚していく様が心地良かったです。役者による声の違いも楽しめました。
（新潟市外／20代／女性）

宮川彬良とアンサンブル・ベガ【2019.4.27／コンサートホール】

クインテットで育った世代なので、ひかえめに言って最高でした。ありがとうございました。
（新潟市外／20代／女性）

どの曲もストーリーや風景が浮かんでとても楽しめました。彬良さんのお話もおもしろくて2時間があっという間でした。
（新潟市／40代／女性）

りゅーとぴあ室内楽シリーズNo.34
「5台ピアノの世界」【2019.5.12／コンサートホール】

ラストの「キエフの大門」は圧巻でした!涙が自然とこぼれました。もう二度と聴くことはできないのだろうか？演奏者の楽しそうな様子も良かった。
（新潟市／40代／女性）

満席のりゅーとぴあに響き渡る5台ピアノの演奏に酔いしれました。随分りゅーとぴあに通いましたが、忘れられない日になりました。感動です。
（新潟市／60代／女性）

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

① 東京交響楽団 第116回新潟定期演奏会

公演日
10月20日（日）17:00
会場：コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

② 秋の能楽鑑賞会（宝生流）

公演日
10月26日（土）13:30
会場：能楽堂

抽選で
ペア2組4名様

③ 前川知大新作公演『終わりのない』

公演日
11月30日（土）13:30
会場：劇場

抽選で
ペア2組4名様

応募方法：（1）ご希望の商品名（2）〒住所（3）氏名（4）年齢（5）電話番号（6）本誌を入手した場所（7）本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.57プレゼント係」 present@ryutopia.or.jp
応募者の中から抽選し、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2019年8月31日（土）必着

編集後記

「はじめてのおつかい」という番組があります。年間100人の子どもを撮影するそうですが、実際に放送されるのは10分の1。子どもが家から一歩も出ずに終わり、そのままお蔵入りになるのですって。親元を離れて一人で出かけることは、恐怖の大冒険なのですね。さて、この夏りゅーとぴあの子どもの劇団APRICOTが上演する『リフカの旅』は、12歳の少女の命を懸けた冒険物語。大人でも怯むほどの災難に見舞われても、明るさと希望は失いません。観た人が新しい一歩を踏み出したくなるような、すごい作品になると思います。（T）

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリンピア日本海、ほんぽーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、上越文化会館、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
「りゅーとぴあマガジン」に関するお問合せは事業企画部 広報営業課まで
次号vol.58は2019年10月1日発行予定です。

新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・県民会館を一体的に管理しています。

お問合せ

休館日：毎月第2・第4月曜日、年末年始（12/29～1/3） ※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622（11:00～19:00）	■事業企画部	TEL.025-224-7000（平日 10:00～18:00）
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521（11:00～19:00）		
■施設利用お問合せ	TEL.025-224-5621（9:30～18:00）	■県民会館	TEL.025-228-4481
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631（平日 10:00～18:00）	■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

Ryutopia Magazine 2019 Summer vol.57 2019年7月1日発行
発行／りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2（白山公園内）
表紙撮影：東浦一夫 編集：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 制作：株式会社 新交企画
デザイン：株式会社 U・STYLE 印刷：島津印刷株式会社
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
http://www.ryutopia.or.jp

Ryutopia Magazine

RYUTOPIA MAGAZINE

vol.57
2019 Summer

Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.

その先の感動へ

APRICOT 2019 夏季公演『リフカの旅』稽古の様子

初演の純粋さを忘れずに できるだけトライしたい

2016年度に初演し、数々の演劇賞を受賞したケラリーノ・サンドロヴィッチ作・演出『キネマと恋人』。映画『カイロの紫のバラ』にインスパイアされた作品だ。銀幕から飛び出す時代劇の脇役・寅蔵と、その寅蔵を演じる売れない役者・高木の二役を演じる妻夫木聡さんに、作品についての思いを尋ねた。

取材・文／本間千英子　撮影／安田慎一（STUDIO SHIN）　協力／フリーペーパーMEG

妻夫木聡 Satoshi Tsumabuki

1980年福岡県出身。映画『ウォーターボーイズ』（2001）『ジョゼと虎と魚たち』（03）などに主演し、数々の賞を受賞。09年にNHK大河ドラマ『天地人』の直江兼続役で大河初出演にして初主演。10年の主演映画『悪人』での演技が高く評価され、日本アカデミー賞最優秀主演男優賞などを受賞。16年『怒り』で日本アカデミー賞最優秀助演男優賞などを受賞した。台湾や中国映画にも出演し、アジアでの人気も高い。初舞台は07年『キル』（野田秀樹作・演出）。野田作品に続けて出演し、パリ国立シャイヨー劇場でも舞台を踏んだ。16年初演の『キネマと恋人』（ケラリーノ・サンドロヴィッチ作・演出）がケラ作品初出演。今後も次々と出演作の公開が控えている。

――お客さまからリクエストが多かった『キネマと恋人』が、3年ぶりの再演です。

ケラさんも役者・スタッフも当初から希望していました。僕はNODA MAP以外の演劇はこの作品が初めてだったので、新鮮でしたし、同じ目線で意見を言い合える、とてもいい現場でした。オリジナルスタッフ・キャストでの再演は、すごくうれしいですね。

――舞台上で映像の世界と行き来しますね。

「演劇の中で映像を見ながら、それに合わせた芝居もする」という破天荒な内容。僕は映像の仕事も多いので「この角度だったら、こう写るだろうな」って何となく分かったのが、強みだったかもしれないですね。例えば映像で表情がアップになればなるほど、その目線の位置に正確に立って芝居をしないといけないから。でも一番大変だったのは、ステージングの小野寺修二さん。場面転換とか、小野寺さんが作らないと、どうにもならなかったので。

――再演にあたり、どう演じたいですか。

初演の稽古のスタート時には、台本が10ページしかなくて、稽古中に台本ができあがっていったので、どういう人物か稽古しながらつかんでいった部分が多かったんです。初めての全部の通しが公演前日の舞台稽古だったぐらい、ギリギリだったんですよ。今回は最初から完成台本があるので、より人間を掘り下げて、その人の背景までお客さまに伝わるような芝居ができたら、と考えています。瞬発力を求められていた初演を「なぞりたくないな」とは思いますね。今回は準備の時間がありますが、変に考えすぎて残酷な結末を生まないようにしないと。高木は一見、嫌なやつなんですけど、本当に芝居を愛している人間。だからこそ寅蔵が生まれたとも言えるし、ハルコに関わる最後の選択につながった。初演の時に感じていた純粋さや心、核を忘れずに、できるだけトライしてみようと思っています。

――妻夫木さんにとって演劇とは。

自分の凝り固まった頭を、柔軟に開放してくれるもの。映像だけだと、「これは、こういうことでしょ」って思い込み過ぎてしまうところがあるんです。目の前にあることが「現実じゃなくてもいいんじゃないか」と、演劇は思わせてくれる。僕に「芝居って自由なんだよ」と教えてくれたのは野田秀樹さんでした。単純に演劇が好きだからやっていますが、自分を一回リセットできる場でもあるのかもしれません。

――好きなシーンは？

たくさんありますが、最後に姉妹が映画を見ながら、だんだん笑顔になっていくところが、一番好きですね。何度見てもいい場面。「辛いことがあっても、それでも生きていくんだ」という感じで、たまらなく泣けてくるんです。

――この舞台の魅力はなんでしょうか。

初演は、お客さまだけでなく僕たちも一緒に、別世界に連れて行ってくれる時間や空間を作った演劇だという実感がすごく深かったんです。お客さまは、見ている間中、ふわーっとした夢の中にいられるんじゃないかな。そして舞台が終わった後に、キャストやスタッフとお客さまが垣根なく、みんなで出演していたように「今日もよかったね！」って自然に喜べる。違う世界に連れて行ってくれる演劇なんですよ。それが一番の魅力ですね。

Information

世田谷パブリックシアター+KERA・MAP#009
『キネマと恋人』

【日時】7/26（金）18:30、7/27（土）13:00、7/28（日）13:00　【会場】劇場

【出演】妻夫木聡　緒川たまき　　【台本・演出】ケラリーノ・サンドロヴィッチ
ともさかりえ
三上市朗　佐藤誓　橋本淳
尾方宣久　廣川三憲　村岡希美
崎山莉奈　王下貴司　仁科幸　北川結　片山敦郎

閃きと妄想を掻き立て、共振と共感で生まれる「音楽」

古今東西のあらゆる舞踊に寄り添い、舞台の決め手となる重要なエレメントとして、音楽はそこに在り続けてきた。Noism芸術監督で演出振付家の金森穣は、創作において音楽とどのように関わってきたのだろうか。

写真は、音符の示すイメージ、あるいはその音を踊る2人の関係性を描いた作品『solo for 2』より。優れた舞踊家にはその人独自のリズム感があるというが、実演に際する課題について金森はこう語る。「音楽をメロディとして捉えるのではなく、テンポや間、呼吸を掴むこと。音楽が創り出す場の空気を読み、その脈動に乗ることが大切です」

音楽を聴くと妄想が始まるという金森だが、楽曲が創作につながるか否かは"感動"に尽きるという。「音楽ありきの場合、振付はしやすいけれど曲が持つ強い力に引っ張られやすく、物語ありきの場合は作品の世界観に合う楽曲を探し出すのがなかなか大変です」

オリジナル曲を作曲家に依頼することもあるが、これがまた至難の業だという。「世界観を規定する音楽は重要だからこそリスクも高い。物語があれば台本を見せて状況を伝えますが、情報が多ければいいというわけではなく、すり合わせは精神的なもの。私たちが時空間を共有し、すべてを総動員した上で湧き上がるインスピレーションの賜物です。作曲家が創り出す世界が私自身をいかに感動させ、私の作品といかに共鳴できるか。共振や共感が優れたクリエーションを生みます」

エストニア生まれの作曲家、アルヴォ・ペルトの『Fratres』を使用した『Fratres Ⅰ』が、15周年記念作品としてまもなく新潟初演を迎える。ペルトと金森の出会いは25年ほど前、オランダのNDT※で活動していた時代に遡る。「イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、マッツ・エックら多くの振付家がペルトの楽曲を使っていました。帰国してNoismを立ち上げる前の2003年、公演の導入として『Fratres』を使ったのですが、今回は15周年にシンボリックな作品をと楽曲を改めて聴き、その構造を知り、この曲が持つ祈りのような崇高な響きに、これだと」。ユニゾンや集団性といった、いまのNoismでなければ表現し得ない、信仰に近い集団の強度や精神性を提供できないかと、金森がそんな構想を描く中で舞い降りた閃きだった。「身体も性別も国籍も異なる多様なメンバーがいるNoismという集団が、単なる形としてではなく、深いレベルで共存し、共有していることを『Fratres』で表現したい」

今冬の公演では『Fratres Ⅱ』が予定されている。「小品を続けて構想するのは初めてで、自分の中でも新しい転換期となるでしょう。この15年、Noismとして信じてやってきたことを踏まえ、もっと遠く、もっと高く、もっと深く、もっと大切な何かを見つけなければ」。今後どのような音楽をと尋ねると、こんな答えが返ってきた。「音楽に感動したいという期待が常にあるので、たとえハイリスクだとしても、また作曲家とコラボレーションをしたいです」

予測不可能な未来に向けて、いまを積み重ねていく。『Fratres Ⅰ』は新しいフェーズに入ったNoismに出会う経験となりそうだ。

※NDT＝ネザーランド・ダンス・シアター
写真：篠山紀信　取材・文：松丸亜希子

『Mirroring Memories—それは尊き光のごとく』

Noism15周年記念公演
『Mirroring Memories－それは尊き光のごとく』
新作『Fratres Ⅰ』

日 時：7月19日（金）19:00、20日（土）17:00
　　21日（日）15:00
会 場：劇場
演出振付・出演：金森穣　出演：Noism1
料 金：S席¥4,000／A席¥3,000
　　U25　S席¥3,200／A席¥2,400　発売中

ワタシのNoism 公演Report

写真：村井勇

Noism2定期公演vol.10 『BOW!!!』演出振付：平原慎太郎

Noism1の公演には何度か足を運んでいたが、今回初めて同世代の舞踊家の作品を観た。息をするリズムや喉の振動まで確認できる距離にある、「視線」と「存在」に釘付けになり、息を呑んだ。彼らから放たれる眼光を夢中で追いかけているうちに、何人かと目が合った（ような気がした）。その瞬間、そうだった、私も内側から何かを放出させたいのだ、という想いが爆発。ずっと目を背けていた気がする、懐かしい煌きが胸いっぱいに広がった。素晴らしい作品に感謝申し上げたい。

角野仁美
1994年生まれ。NPO法人みらいずworksスタッフ。生き方を豊かに見つめる「キャリア教育」の支援や、中高生の様々なチャレンジを応援している。

私たちはNoismの活動を応援しています
SHISEIDO　Chacott　Jamrucrew Inc.　stage P.
WIND　KOSMI　Noism サポーターズ

活動支援のお願い
Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは http://noism.jp/support/
お問い合わせは、りゅーとぴあ事業企画部（TEL.025-224-7000）まで。

2019 SUMMER/AUTUMN

RYUTOPIA NAVIGATION

2019年、夏～秋のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅーとぴあカレンダーをご覧ください。

浜松国際ピアノコンクール優勝!
未来の巨匠が早くも新潟登場。

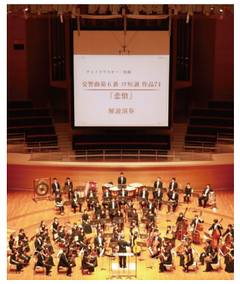
恩田陸「蜜蜂と遠雷」のモデルとして話題となった浜松国際ピアノコンクール。2018年の第10回コンクールで見事第1位に輝いたジャン・チャクムルがりゅーとぴあコンサートホールに登場します。21歳とは思えない深い表現力と輝き弾む音色は、未来の巨匠の登場を感じさせます。今回の公演では、彼が得意とする楽曲の中から選りすぐりの名曲を並べた豪華プログラムをお届けします。今聴くべき新鋭ピアニストの演奏を、どうぞお聴き逃しなく。

ジャン・チャクムル(ピアノ)

ジャン・チャクムル ピアノリサイタル
■8.1(木)19:00開演　■コンサートホール

「モルダウ」を含む連作交響詩「我が祖国」全曲を
豊富な解説映像と超一流メンバーで聴く。

元N響オーボエ奏者で、自ら企画・指揮する「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」や「オーケストラ楽器別人間学」等の執筆でも知られる茂木大輔が、豊富な経験と知識をフルに投入して臨むレクチャー付きオーケストラ・コンサート。第1部では作曲の背景や聴きどころを楽曲分析も交えて実演付きでレクチャー。第2部はスクリーンに投影される解説を見ながら全曲演奏をじっくりとお楽しみください。深く知ることで聴く楽しみが2倍にも3倍にもなる、知的な大人のためのコンサートです。


もぎオケ交響団

茂木大輔のオーケストラ・コンサートNo.14　スメタナ／連作交響詩「我が祖国」
■9.1(日)14:00開演　■コンサートホール

交響楽によって描かれる、
情熱にあふれた人生の初夏と、穏やかな実りの秋。

プログラムが凝っている。前半に若きベートーヴェンの勢いを感じるピアノ協奏曲第1番、後半に円熟期ブラームスの滋味あふれる交響曲第3番を対置して、その間をゲーテ作詞によるベートーヴェンのカンタータ「静かな海と楽しい航海」でつなぐ。まるでこの演奏会1つで、人の一生を描こうとするかのようだ。独奏ピアノを弾き、指揮をするのは英国の才人、ウィグルスワース。たぐいまれな慧眼で、見えない関連性も全てお見通し、ということか。

ライアン・ウィグルスワース(指揮・ピアノ)

東京交響楽団　第115回新潟定期演奏会
■9.15(日)17:00開演　■コンサートホール

極上の美音に包まれる喜び。サクソフォンの
上野耕平を筆頭に、管楽器の名手たちが登場!

フルート、クラリネット、トランペット、イングリッシュホルンにソプラノサクソフォン。管楽器の名手たちが次々に登場して妙技を聴かせる、今年一番の注目公演。前の4つの楽器は東響メンバーがソリストですが、ソプラノサクソフォンには天才、上野耕平が登場。輝きと柔らかさ、どちらも兼ね備えた極上の美音をご堪能ください。後半はビゼー作曲の「アルルの女」第1組曲、第2組曲。ここでも上野が美しいメロディを聴かせます。

上野耕平(ソプラノサクソフォン)

東京交響楽団　第116回新潟定期演奏会
■10.20(日)17:00開演　■コンサートホール

来日決定! 世界を魅了し続ける“伝説のコントラバス”

あなたは「生きる伝説」を目の当たりにしたことはありますか?11月、りゅーとぴあに登場するゲイリー・カーはまさに“コントラバス界の生きる伝説”といえるでしょう。78歳の誕生日記念ツアーとしてこの度来日し、極みに達したコントラバスの音色を聴かせてくれます。伴奏は長年タッグを組み続けている名手ハーモン・ルイス。「ミスター・コントラバス」として大注目を集めた大巨匠の演奏をお楽しみください。

プログラム:
グリーク／ソナタ イ短調　　ラヴェル／ハバネラ
ボッテジーニ／夢、タランテラ　　ラフマニノフ／ヴォカリーズ
パガニーニ／ロッシーニの歌劇「エジプトのモーゼ」の主題による幻想曲　他

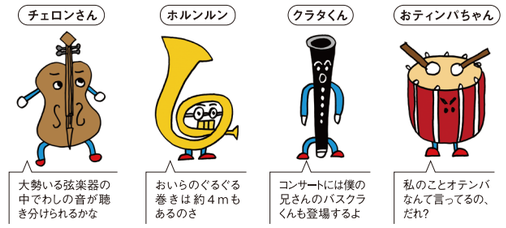
ゲイリー・カー コントラバス・リサイタル
■11.21(木)19:00開演　■コンサートホール

ゲイリー・カー(コントラバス)

子どもと一緒の夏にしよう!
親子で観て、聴いて、体験できるイベントが目白押し!

キラキラ輝く音のシャワーを浴びよう! 夏休みは親子でオーケストラ体験。

新潟市の準フランチャイズ・オーケストラ、東京交響楽団による子どもたちのための名曲コンサートを今年も開催。指揮とお話は、溢れる情熱と気さくな人柄でファンの多い飯森範親。いろいろな楽器の音色がわかるディズニーのメドレーや、映画「スター・ウォーズ」の名旋律が次々にでてくる豪華絢爛な「王座の間とフィナーレ」。最後はパイプオルガンも加わって「威風堂々」第1番を演奏します。総勢80人のオーケストラによる迫力の音楽、生で聴くからこその感動体験をご家族おそろいでどうぞ。子どもたちだけで鑑賞するバックステージツアー付きの企画(第1回公演)、終演後の楽器体験(第2回公演)もあるよ!



子どものための芸術文化体験事業　オーケストラはキミのともだち　■8.10(土)11:30開演・14:30開演　■コンサートホール

元気いっぱいな少女リフカとアプリコットが贈る、スリルたっぷりな冒険物語!

これまで児童文学の名作に取り組んできたアプリコットが、今作で初めて実話を元とした物語に挑戦!12歳の少女リフカは、ウクライナからアメリカへ亡命するために家族と共に旅に出ます。けれどもその旅はトラブルばかり。ついには家族ともはなればなれになって、たった1人でヨーロッパに取り残されてしまいます。はたしてリフカは無事にアメリカへ辿り着けるのか———。持ち前の明るさと知恵で、数々の苦難を乗り越えて旅するリフカの姿を、アプリコットが生き生きと描き出します。
これは、100年前に本当にあった、1人の少女の成長&冒険物語。

APRICOT2018夏季公演『ハイジ』より

APRICOT2019夏季公演『リフカの旅』　■8.10(土)13:00開演・17:30開演／8.11(日・祝)14:00開演／8.12(月・休)14:00開演　■劇場

令和元年の夏休み! 新時代の幕開けに
おや子で日本の伝統文化に触れてみませんか?

世阿弥の子孫・山階彌右衛門が直接指導!「能」の謡(うたい)や動きについて、子どもにも分かりやすくレクチャーします!

お申し込み締切:7/14(日)まで!
【対　象】4歳以上～中学生の子どもと保護者
【参加費】子ども500円 保護者1,000円
※保護者同伴でご参加ください。　※応募者多数の場合は抽選。
◎お申し込み方法
氏名・〒・電話・FAX番号(FAXでご応募の方)・人数・年齢・足のサイズを明記して、りゅーとぴあ「おや子能教室」係へ
Eメール:nohgaku@ryutopia.or.jp FAX:025-224-5626
問い合わせ:りゅーとぴあ事業企画部 025-224-7000(平日10~18時)

「夏休み☆おや子“能”たいけん教室」～お能に挑戦!～
■8.3(土)10:00～11:30　■能楽堂

今年のジュニアオケに乞うご期待!
鳴り響く「革命」のサウンド!

昨年ストラヴィンスキー「火の鳥」の演奏で大きな話題を呼んだ新潟市ジュニアオーケストラ教室。今年の演奏会ではショスタコーヴィチの交響曲第5番に挑戦します。若いパワーに満ち溢れたサウンドが、ショスタコーヴィチの描いた重厚なハーモニーをどう表現するのか。初級のA合奏、上級のB合奏ともに着実に成長を遂げている今、子どもたちがお贈りする「魂の音楽」にどうぞご期待ください。

新潟市ジュニアオーケストラ教室 第38回演奏会
■9.8(日)14:00開演　■コンサートホール

能の魅力を“超立体的”にご案内する好評シリーズ。「万葉集」に詠われた三輪山の能です。

若手能楽師4人と歌人・梅内美華子さんが、わかりやすいお話と充実の実演で能の楽しみをご案内します。今年度は「能の神々」をテーマに神様が登場する能を紹介しています。第2回講座は、奈良県の三輪の里が舞台の能「三輪」。「万葉集」にも詠われた「三輪の神杉」をめぐる不思議な物語です。ゲストは笛方能楽師の小野寺竜一さん。お能が初めての方にもおススメです。ぜひ気軽にご参加ください。

昨年の講座より

能楽基礎講座「若手能楽師に聞く 能の楽しみ」＜第2回＞
■8.18（日）14:00開演　■能楽堂

イタリアの名門、ヴェルディ2作品を初演した ゆかりの劇場! トリエステ・ヴェルディ歌劇場。

『椿姫』には、私たちが人生を通じで味わう喜びも、苦悩も、救いもすべてが詰まっていて、終演まで観る人の心を揺さぶり続ける。
華麗なコトラトゥーラで表された恋の芽生えには胸のときめきを、恋人の父に強いられて自己犠牲を決める二重唱の心の移ろいには涙を強いられ、死を前にしての心の叫びにますます涙を誘われます。
これぞイタリア・オペラの決定版!

トリエステ・ヴェルディ歌劇場　オペラ『椿姫』
■11.6（水）18:30開演　■新潟県民会館

高校ダンス部の強豪校が新潟に集結!

豊かな表現力と、躍動感あふれるパワフルなダンスをお楽しみください。

【出 演】
愛知:光ヶ丘女子高校
神奈川:大和高校
大阪:同志社香里高校
新潟:新潟清心女子高校、
新潟明訓高校、新潟南高校、
新潟中央高校

【ゲスト】
平原慎太郎（OrganWorks）

同志社香里高校

新潟ダンスの祭典
■11.17（日）11:00開演　■新潟県民会館

人気作家・東野圭吾の初期傑作を、成井豊の脚本・演出で舞台化!

舞台「容疑者Xの献身」「ナミヤ雑貨店の奇蹟」で大好評を博した東野×成井のタッグが新潟初登場。まさかのどんでん返し、あなたは予想できるか?!

平野綾

木戸邑弥

【原作】東野圭吾　【台本・演出】成井豊
【出演】平野綾、木戸邑弥、伊藤万理華、畑中智行／
坂口理恵、星乃あんり、鯨井康介、筒井俊作、
原田樹里、オレノグラフィティ、関根翔太、佐藤豪／辰巳琢郎

『仮面山荘殺人事件』
■10.19（土）16:00開演　■劇場

圧倒的歌唱力と豊かな表現力を持つ 雪組トップコンビ 望海風斗と真彩希帆が再び新潟に!

柏谷紀子氏の劇画「風のゆくえ」を原作とした『はばたけ黄金の翼よ』は1985年に雪組トップスター麻実れいのサヨナラ公演として上演され鮮烈な印象を残した作品。この度、演出・小柳奈穂子による新たなアプローチで34年ぶりによみがえります。

■宝塚ロマン『はばたけ黄金の翼よ』
～原作「風のゆくえ」柏谷紀子
（集英社クイーンズコミックスDIGITAL版）～
オリジナル脚本/阿古健　脚本・演出/小柳奈穂子
■ダイナミック・ショー『Music Revolution!』
作・演出/中村一徳

※写真は公演内容とは異なります。

宝塚歌劇 雪組 全国ツアー　新潟公演
■10.22（火・祝）14:00開演・18:00開演　■新潟県民会館

気鋭の劇作家・演出家 前川知大の最新作!

「始まりもなければ、終わりもない。時間と空間。無限の世界。
命は繰り返され、つねに旅の途中にある。
歴史はいつ始まり、物語はいつ終わるのか。
旅、世界、物語。終わりのない」

神話的世界とSF的世界。古代ギリシャの叙事詩「オデュッセイア」を原典に、前川知大が新作SFに挑戦します。NHK朝ドラ出演中の山田裕貴、前川作品には欠かせない存在の仲村トオルなど、注目の若手から実力派まで、多方面で活躍中の俳優が揃う話題作。歴史、神話、そして宇宙…壮大な時空を超えて描き出される新たな前川作品にご期待ください。

前川知大

山田裕貴

仲村トオル

前川知大新作公演『終わりのない』■11.30（土）13:30開演　■劇場

始皇帝暗殺に失敗した青年が謎の老人と出会い…。“天才軍師”誕生の伝説を基にした大曲!

漢の初代皇帝・劉邦の天下取りを支えた名軍師・張良の伝説を基にした能「張良」を上演します。秦の始皇帝の暗殺に失敗した若き張良が、謎の老人（実は兵法の祖・黄石公）と出会い、試練に打勝ち、兵法の奥義を伝授されます。見どころの多い大曲で、りゅーとぴあでは初上演となります。どうぞお見逃しなく!そのほか、昆布を売らされる大名が愉快な狂言「昆布売」や舞囃子、仕舞もお楽しみいただけます。令和元年の秋、ぜひ古典の世界をご堪能ください。

舞囃子　「雨月」　大友順
仕舞　「花筐狂」　小倉健太郎
仕舞　「半蔀キリ」　髙橋章
狂言　「昆布売」　山本則俊
能　「張良」　渡邊荀之助

能「張良」

「秋の能楽鑑賞会」（宝生流）■10.26（土）13:30開演　■能楽堂

380席の濃密な空間で極上の狂言を! 万作、萬斎の狂言を能楽堂で楽しむ大好評シリーズ。

人間国宝・野村万作、古典にとどまらず現代演劇の演出や出演、映画主演など八面六臂の活躍をみせる野村萬斎による狂言公演は今年も見逃せません。野村万作による太郎冠者の、太刀を奪われた失態のとぼけた言い訳が見どころの「成上り」と、落語の「百人坊主（大山詣り）」の元になった演劇的な展開が楽しい「六人僧」を野村萬斎のシテでご覧いただけます。役者の息遣いも伝わる能楽堂の濃密な空間で極上の狂言をご堪能ください。

解説:高野和憲　狂言「成上り」:野村万作　狂言「六人僧」:野村萬斎

野村万作

野村萬斎

野村万作・萬斎狂言公演 ■12.21（土）13:00開演・17:00開演　■能楽堂

▶ウクライナを出発後、ベルギーの大都市アントワープを経由し、アメリカ合衆国移民局が置かれたニューヨーク湾内のエリス島を目指します。

100年前の出来事

舞台は、革命による混乱やユダヤ人への迫害、性や病気に対する差別といった社会問題が渦巻く今から約100年前のウクライナから始まります。実はこれ、原作者カレン・ヘスの大おばの体験を元に創作された物語だとか。実話を元にした作品を題材に、APRICOTが新境地に挑む今作では、圧倒的なリアリティーをどう表現するのか注目です。

アメリカの児童文学賞「フェニックス賞」受賞作品。12歳の少女が感じた困難や不安、そして夢を、故郷に残った従妹宛ての手紙でつづる。

カレン・ヘス著、伊藤比呂美・西更翻訳／理論社

この夏、親子で見るべき理由がわかる!

「リフカの旅」をもっと楽しむための、3つのキーワード。

時が経っても色あせない名作「リフカの旅」が、APRICOTの瑞々しい演技により壮大な成長&冒険物語として舞台上に立ち現れます。誰もが勇気をもらえるリフカとの“旅”は、この夏一番の思い出になるはず!

「強く、かしこくだ。リフカ」

旅の途中で出会う水夫の少年・ビーテルから放たれるこのセリフは、まさしくリフカという少女を象徴しています。辛い状況にあっても希望を忘れず、持ち前の明るさと聡明さ、強い心で前へ進み続ける彼女にとっての“道しるべ”となるような言葉です。さらにリフカは、偏見や差別の意識に捉われずに、自らが正しいと思うことを行います。そんな少女の姿から何を感じるか。本作には、子どもから大人まで“今”を生きる私たちの心に響く、普遍的なメッセージが込められています。

Мы ждем с томленьем упованья
Минуты вольности святой.

われらは望みに疲れはて
きよき自由のときをまつ

リフカを支える旅のアイテム

プーシキンの詩集

リフカが肌身離さず持ち歩くのは、ロシアの大詩人アレクサンドル・プーシキンの詩集。物語のクライマックスでは、詩集がリフカたちのピンチを救う…!?

20年に1人の逸材!?

主人公のリフカを演じるのは、12歳の早川杏さん。昨年の夏季公演「ハイジ」でも主演を務め、透き通るような歌声と生き生きとした演技で観客を魅了しました。笹部監督が思う、彼女のすごさとは?

とにかく“感じる力”がすごいんです。感受性が豊かということは、自然と役に入れるということ。歌、台詞表現、演技とどれもバランスが良く、東京でも十分に通用する実力を持っている子だと思います。“20年に1人の逸材”かもしれませんね。

りゅーとぴあ演劇部門芸術監督・笹部博司

ステージに立っているときは全然緊張しないんです。真っ暗で人の顔が見えないから、逆に平気なのかも…。演技をする時、役になりきるというよりは、「もし私がこの子だったら…」という自分なりのイメージも大事にしています。リフカは私と同じ12歳だけど、とても強くて、なにが起きても負けないで頑張るかっこいい女の子。お母さんには、「杏とリフカは人を疑わないお人好しなところが似てるね」って言われます(笑)。今回の役は気持ちを切り替えないといけない場面が多くて難しいけど、みなさんを「リフカの旅」の世界に引き込めるような素敵な演技がしたいです!

早川杏さん

APRICOT ココがスゴイよ! 1・2・3

What's "APRICOT"?

演劇を通じて豊かな感性や表現力を育み、ものづくりやチームワーク、コミュニケーションを学ぶキッズ劇団です。現在、小学4年〜高校3年生まで総勢59名の個性豊かな子どもたちが在籍中!「台詞表現」「歌」「ダンス」などを専門講師の指導の下グループワークで習得し、毎年夏季と春季に舞台作品を創作します。

1 積み重ねてきた歴史がスゴイ。

前身を含め約20年の歴史を持ち、長年演劇の面白さを伝え続けてきたAPRICOT。歴代の所属団員は300人以上、上演作品は37作品にも上ります。中にはプロの俳優として活躍する先輩も!

2 子どもたちのエネルギーがスゴイ。

自然体で演劇と向き合い、驚くべきスピードで成長していく団員たち。子どもならではの豊かな創造力と素直な表現に満ちたパフォーマンスは、大人の舞台にはないピュアな感動を呼び起こします。

3 舞台のクオリティーがスゴイ。

APRICOT&劇団ひまわり合同特別公演「赤毛のアン」(2015)

元宝塚トップスター・日向薫さんらゲストとの共演でも話題となった「赤毛のアン」(2015年)を始め、演技・美術・照明・衣裳など各分野のプロと力を合わせ、優れた演劇作品を創り上げます。

りゅーとぴあ等をご利用いただく公演、県内の公立文化施設の自主事業をご紹介!

各公演記載のマークは下記のとおりです。
チケット取扱い:[A]りゅーとぴあ2Fインフォメーション [B]新潟市音楽文化会館 [C]新潟伊勢丹 [D]ヤマハミュージックリテイリング新潟 [E]コンチェルト [F]インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)

本ページはりゅーとぴあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとぴあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

7/1(月) 11/1(金) ついたちはガチバッハ

市橋靖子(フルート)、笠原恒則(チェンバロ)のデュオで、バッハのフルートソナタを一曲ずつ取り上げていくシリーズです。

第2回 7月1日(月) 14:00〜15:00
Program
バッハ/無伴奏フルート・パルティータ イ短調 BWV1013
バッハ/無伴奏ヴァイオリン・パルティータよりシャコンヌ(レオンハルト編)
バッハ/フルートとチェンバロのためのソナタ ロ短調 BWV1030

第3回 11月1日(金) 14:00〜15:00
Program
バッハ/フルートとチェンバロのためのソナタ 変ホ長調 BWV1031
バッハ/フルート、ヴァイオリンと通奏低音のためのトリオソナタ BWV1038 ほか
■助演:佐々木友子(ヴァイオリン)

りゅーとぴあ スタジオA 全席自由 各日 ¥1,000 チケット取り扱い:[A] [E]

ご予約・お問い合わせ
TEL 090-2932-0052 Eメール kasahara.cembalo@gmail.com

7/11(木) 文学座公演 ガラスの動物園

記憶の影を照らす追憶の光

7月11日(木) 18:30開演
長岡リリックホール シアター
全席指定 ¥3,000
チケット取り扱い
長岡リリックホール、長岡市立劇場 ほか
■作 テネシー・ウィリアムズ ■訳 小田島恒志
■演出 高橋正徳
■出演 塩田朋子、亀田佳明、永宝千晶、池田倫太朗

激しくも優しく、儚くも眩しく
1945年ブロードウェイでのロングラン公演以来、世界中で上演され続けているテネシー・ウィリアムズの代表作「ガラスの動物園」。
この戯曲では、現代的な家族の問題を描いており、初演から70年以上経った今でも古臭さを帯びることなく、むしろ新鮮な驚きすら感じられる作品です。
約30年ぶりに文学座が新訳・新演出で上演する本作をぜひお見逃しなく!!

主催・お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団 TEL 0258-29-7715

7/28(日) TOKI弦楽四重奏団2019

〜夏にはなぜかイタリア音楽が聴きたくなる〜

7月28日(日) 14:00開演
りゅーとぴあ 能楽堂
全席自由 ¥3,000
学生¥1,500(要学生証)
チケット取り扱い:[A] [C] [E] [F]
Program
ヴォルフ/イタリア風セレナーデ ト長調
ヴィヴァルディ/トリオ・ソナタ ニ短調 作品1-12「ラ・フォリア」
メンデルスゾーン/弦楽四重奏曲 第5番 変ホ長調 作品44-3
プッチーニ/弦楽四重奏曲「菊」
レスピーギ/弦楽四重奏曲 第3番 ニ長調 P.53

左から 鈴木康浩(ヴィオラ)、平山真紀子(ヴァイオリン)、岩谷祐之(ヴァイオリン)、上森祥平(チェロ)

お問い合わせ 実行委員会事務局 TEL/FAX 025-222-0707

8/4(日) 山形交響楽団 新発田公演

真夏の新発田恒例 食と温泉の国のオーケストラ 山響公演!
新進気鋭の指揮者 阿部未来を迎え、モーツァルトとベートーヴェンに迫ります。

8月4日(日) 16:00開演
新発田市民文化会館
全席自由 ¥2,000
チケット取り扱い
喫茶「紫音」(新発田市民文化会館内)、新潟県民会館、チケットぴあ ほか
■出演 阿部未来(指揮)、柴田祐太(オーボエ)

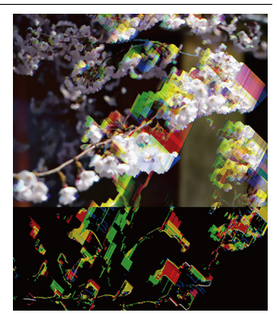
Program
モーツァルト/歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」序曲 K.588
モーツァルト/オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314(285d)
ベートーヴェン/交響曲第8番 ヘ長調 作品93

主催・お問い合わせ 新発田市民文化会館 TEL 0254-26-1576

8/21(水) 第22回日本電子音楽協会定期演奏会

6.1マルチチャンネルスピーカー+会場に広く映像をプロジェクション等、意欲的な新作が集まります。

8月21日(水) 18:30開演
りゅーとぴあ 能楽堂
全席自由 大人¥2,500
学生¥1,500
(当日各¥500増)
チケット取り扱い:[A] [E]
■出演 大谷安宏(ダンス:角正之 振付:和田敦子)
宮木朝子(映像:小阪淳)
廣木勇人(映像:阿部康太)
小坂直敏(ソプラノ:Sara Perez)
渡邊裕美
田口雅之
福島諭(尺八:福島麗秋)



主催・お問い合わせ 日本電子音楽協会(新潟支部) TEL 080-1082-1874(福島)

9/8(日) 2018年の話題作2本を上映 新発田市民文化会館 シネマ上映会

9月8日(日)
10:00〜 上映作品「万引き家族」
14:00〜 上映作品「ボヘミアンラプソディ」
新発田市民文化会館
全席自由
前売り券 各¥800(当日¥1,000)
2作品通し券 ¥1,500(前売りのみ)
チケット取り扱い
喫茶「紫音」(新発田市民文化会館内)、セブン-イレブン(セブンチケット) ほか

主催・お問い合わせ 新発田市民文化会館 TEL 0254-26-1576

風の楽器 パイプオルガン

りゅーとぴあ専属オルガニストの山本真希がオルガンという楽器に焦点を当て、楽器のケア、楽器の魅力をご紹介します。

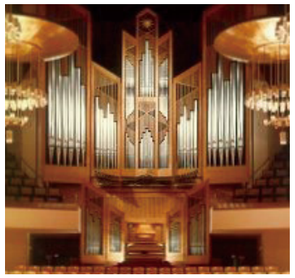
第9回　スペイン周遊 マドリード

りゅーとぴあのオルガンは、スペインと北ドイツ古来の伝統が取り入れられたユニークなスタイルのオルガンです。客席に向かって取り付けられている水平トランペット、本体とは別に浮島のように突き出したリュックポジティヴが左右に分けて配置されていて、このオルガンの大きな特徴となっています。製作者のグレンツィングさんは、世界各地で多くのオルガンを手掛けていますが、スペインの首都マドリードには、新潟のオルガンと同じ特徴を持つオルガンが2台設置されています。

一つはマドリード国立音楽堂です。スペイン最大のシンフォニーホールで、オルガンは1990年に完成されました。ホールのオルガンには、幅広いレパートリーが演奏可能で、オーケストラや合唱との共演も想定した音響、なおかつ独自の個性を持ち合わせていることなど多様性が求められます。ホールで美しい響きとなるように、このオルガンの製作にあたっては、様々な製作技術の開発があったそうです。ホールに設置されるオルガンの理想を実現し、新潟のオルガン製作時のモデルとなったオルガンです。

もう一つは、王宮のすぐそばに建つアルムデナ大聖堂に設置されています。オルガンが設置されたのは1999年、ホールのオルガンとは異なり、教会での宗教的な行事を支える厳粛な趣が求められます。ケースは、ゴシック様式の祭壇からインスピレーションを得て設計された斬新なデザインで、現代美術館のようなモダンな内装に良く調和しています。全長100メートルを超える巨大な空間での響きを満たし、長い残響の中でも隅々で音がクリアに聴こえるよう慎重に整音作業が行われました。

純粋に音楽を楽しむホールとキリスト教の建築物である大聖堂、置かれる場所によってオルガンの役割は様々ですが、どこにあっても美しい響きでそこに集う人々の生活に寄り添い、人々の日常を豊かに彩っています。



マドリード国立音楽堂のオルガン
（4段鍵盤とペダル 69ストップ）

アルムデナ大聖堂のオルガン
（4段鍵盤とペダル 70ストップ）

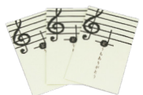
りゅーとぴあ SHOP通信

当館2階、インフォメーションに併設されているりゅーとぴあSHOPでは、常時約200点の商品を販売しています。楽器モチーフのアクセサリーや食器類、Noismのオフィシャルグッズ、お土産品、和小物など、幅広いラインナップを用意!お店をのぞいてみれば、きっとお気に入りのアイテムに出合えるはず。ご来館の記念に、公演の合間に、音楽好きの方へのプレゼントに、ぜひご利用ください。

コレがオススメ!

ポチ袋（3枚入）　¥216

サイズ:H10.5×W6.5cm



「ド♪」はドーナツの「ド」だけではなく、「どうもありがとう」の「ど」。ささやかな気持ちを伝えるお手伝いをしてくれるポチ袋です。常にストックしておくと何かと使えて便利ですよ!

コインケース・ドガ　¥1,944

サイズ:H10.5×W10×D3cm

なかなか他では見られないドイツの音楽雑貨。ドガの踊り子をモチーフにしたケースです。クッション性のある素材で、コインだけでなくアクセサリーなどの小物入れにもオススメ。

ブローチ ト音記号

¥2,484

サイズ:
H5×W2.3×D1cm

胸元に贅沢な輝きをプラス♪ラインストーンを散りばめたト音記号のブローチです。普段使いはもちろん演奏会やパーティーなどのお出かけにどうぞ。カラーはゴールドとシルバーをご用意。

※価格は全て税込です。

りゅーとぴあSHOP
（館内2F インフォメーション）
営業時間 11:00～19:00（休館日を除く）

スタッフのイチオシ

ボトルオープナー　¥1,361

楽器の形にカットされた栓抜き。裏面がマグネットなので冷蔵庫に貼れます!

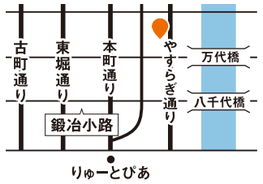
りゅーとぴあのスタッフが厳選リコメンド!

パートナーショップのススメ。

信濃川沿いの好ロケーションに建つ「SEASON」は、窓から望む四季折々の自然美と、店名の通り"季節"の食材を取り入れたこだわりの味を堪能できるレストラン。女性客を中心にリピーターも多いというランチは、常時5～6種から選べる豊富なバリエーションに加え、サラダ&スープバー&1ドリンクが付いた盛りだくさんの内容がうれしい。

【店舗情報】
Cafe & Party SEASON

新潟市中央区下大川前通3-2230
リバーサイドプレイスブリッジス1F
TEL 025-201-8741
営業時間　11:00～15:00（14:00 LO）
17:30～21:00 ※金・土は22:00まで
定 休 日　月曜日・第2火曜日



1.人気のハンバーグセット（1,512円）は、異なる粗さのひき肉やスパイスを独自配合することで、驚くほどジューシーな仕上がりに。3日以上煮込んで作る自家製デミグラスソースとの相性も◎。2.明るく広々とした作りの店内。3.笑顔が可愛いスタッフ・伊藤さんが持っているのは、特典のデザート盛り合わせ。どれもおいしそう!

職員の間でも大人気のお店。料理はどれも絶品で、ボリュームたっぷり。行く度に新しいメニューと出合えるので、選ぶ楽しさもありますね。何よりすごいのは、サラダバーの豪華さ!オシャレなデリサラダや話題のスーパーフードを使用した栄養満点のサラダで、野菜をおいしく摂れるので大満足です♪

音楽企画課／Kさん
ジュニア合唱団の運営を始め、さまざまな音楽公演を担当。業務を通してクラシック音楽の魅力に気づき、今ではプライベートでも楽しむように。

＼ パートナーショップ特典 ／

デザート盛り合わせサービス

※ランチご利用の方対象

パートナーショップとは?

りゅーとぴあで開催された公演チケットを提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。詳細はりゅーとぴあホームページでご確認ください。
※公演によっては対象外のものもございます。

ぶらりFURUMACHI

文・イラスト／迫 一成（hickory03travelers）vol.37

子どもたちのために

過ごしやすい季節になりましたね。いきいきした人に最近よく会います。お互いにうれしいことですよね。僕は、ここ最近調子が悪かったのですが、少しずつ良くなってきています。元気な人からは元気を分けてもらえる気がします。

さて先日、とびっきりのことがありました。上古町の近くにある白山小学校の先生に呼ばれて、4年生の子どもたちに、これまでの上古町のこと、商店街で働く自分たちのことをお話してきました。歴史のある学校で古い建物なのですが、とてもいい雰囲気があり、何度行ってもワクワクします。

さて授業です。「上古町にいったことある人～」と問いかけると、「はい!はい!よく通る!買い物に家族で行く!」などなど、ほとんどの子どもたちが手を挙げてくれて、意外というか思っていた以上に商店街のことを知っていて、僕の話も、すごく、すごく、熱心に聞いてくれて（講演会などで大人たちに話す時の180%くらい）、こちらもうれしくなりました。声が枯れそうになりましたが。

その中でびっくりしたのが、4年くらい前までやっていた、道路にチョークで落書きをする"チョークで落書きコンテスト"に参加した子どもがたくさんいたことです。しかも「またやりたい!絶対いく!」って言ってくれて、涙が出そうでした。記憶に残って、楽しかったと思ってくれて。一部の大人が「きれいじゃないから」と言っただけで止めてしまったことを後悔し、今年は何とか復活させたい!そんな気持ちにさせてもらいました。ありがとう。お楽しみに。

PROFILE　迫 一成　Sako Kazunari

1978年福岡県生まれ。2001年クリエイト集団hickory03travelers結成。「日常を楽しもう」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、アートイベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔らかく活動中。

http://www.h03tr.com

※古町（FURUMACHI）：りゅーとぴあに一番近い老舗商店街